



企業の強み

- ・「すべての廃棄物を再資源化」をモットーに、次世代型循環社会の形成に向けた環境ビジネスを展開中。蓄積されたノウハウをもとに様々な角度から提案を行ない、お客様、更には環境へも大きく貢献しています。
- ・資源リサイクル事業に加え、技術研究室を設置し新技術構築に取り組んでいます。
- ・「安全と遵法は全てに優先する」この基本を実直に守り続け、六十有余年かけて築いてきた信用と信頼は他社には真似できない強みです。



技術研究室



目指す企業の姿

- 【経営理念】
- (1) 地域に愛され、必要とされる会社とする。
 - (2) 社員が、物心共に幸福と思える会社とする。

- 【経営戦略】
- (1) 安全・遵法第一。営業第二とする。
 - (2) 全てにおいて、常に顧客目線で考え、行動する。
 - (3) 責め心のない厳しさ、馴れ合いでない優しさを持ち続ける。

- 【将来ビジョン】
- まずは、目指せ 100 年企業



本社工場

社長、先輩社員から一言



代表取締役社長 木下 繁夫

弊社は創業 68 年ですが、平均年齢 44 歳と若く、活気に満ちた会社であり、将来に対し多くの夢を持つ会社でもあります。



総務部 ○さん (2012 年 4 月入社)

当社は「教育は投資」という方針のもと、社員教育にとっても力を入れています。入社時には社会人の基本を学ぶ研修の機会が多く設けられています。入社から 5 年経った今も、その経験は仕事の中で役立っています。

また社内は特に女性の元気がよく、とても明るい社風です。毎日楽しく、そしてやりがいを感じながら仕事をしています。



実際に
訪問した

学生から見た魅力

レポート：T 大学 K 学部 K 学科卒
O さん

働きがい

大学時代は金属材料の勉強をしており、「多くの材料の特性を知りたい」という探究心を持っていました。そのため、食品や非金属など様々な材料との出会いの場を有しているリサイクル業界に非常に魅力を感じていました。

材料研究への強い興味もあり、内定後に技術研究職への配属を検討して頂けて一層強くなりがいを感じました。研究一辺倒にならず、他の部署との連携や他企業との交流などにも力を入れていきたいと考えています。

将来性

環境省の統計データより、産業廃棄物排出量が年間約 4 億トン、業種別排出量における建設業・鉄鋼業・紙製品等の資源の割合が年間約 50%で安定していることから見ても、解体工事・廃棄物処理等の事業の安定性と信頼性は非常に高いと考えています。

その中で私に出来ることは限られると思いますが、出来る限り多くの物事に積極性を持って取り組み、新たな材料との出会いを実現していきたいと思っています。

職場の 雰囲気

技術研究室を案内して頂いた際、始めは小さなスペースでの作業を想像していましたが、個別の研究所に多くの機材を有しており、大学の研究室の懐かしさも相まって非常にモチベーションが上がりました。

研究室の方々もそうでしたが、社内を回っても穏やかな雰囲気の方が多い印象を持ちました。総務の方の電話対応を見てもどこかフランクな対応で、真面目な仕事場の中でも暖かさを感じました。



基本情報

- 事業内容 金属・プラスチック・古紙等の資源リサイクル事業、廃棄物処理事業、リサイクル技術の研究開発
- 所在地 〒381-0022 長野県長野市大豆島 3397-6
TEL. 026-222-1880
FAX. 026-222-1881
email info@naotomi.co.jp
- 資本金 4,500 万円
- 従業員数 480 名（平均年齢 44 歳）
- 設立 1948 年 8 月
- URL <http://www.naotomi.co.jp/>
- 売上高 95 億 6,600 万円（2015 年 2 月期）



本社管理棟

- 福利厚生 健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険、慶弔見舞金制度、退職金制度、資格取得制度、社員旅行、保養施設
- 休日・休暇 週休 2 日制（当社カレンダーによる）・年間休日 107 日、その他休暇（年次有給休暇、特別休暇、育児介護休暇）
- 初任給

	大卒	短大卒	専門学校卒	高卒
基本給	195,400 円	177,500 円	—	—
諸手当	—	—	—	—

- 最近の雇用状況（30 歳未満の若年雇用者）

	25 年度	26 年度	27 年度
採用者	13 名	11 名	10 名
離職者	4 名	7 名	4 名